

子どもの遊び場 ニュース

2017年9月発行 問い合わせ：広川町建設課 0943-32-1157

●「広川チルドレンズ・パーク」を検証しました！

9月23日14時から「いこっと」で、16人ワークショップ委員に参加して頂き「子どもの遊び場ワークショップ2」を開催しました。

まず9月2日に開催したワークショップ1の振り返りを行い、子ども時代の遊びから得た遊びの効果を確認しました。

次に9月10日に開催した「広川チルドレンズ・パーク」の振り返りを行い、気づいたことから、今後の子どもの遊び場づくりに活かすアイデアなどを出し合いました。



プログラム

1. 開会
2. 振り返り
3. 広川チルドレンズパーク
4. 子どもの遊び場について
5. 閉会



●子どもの遊び場でやってみたいこと！

「広川チルドレンズ・パーク」のニュースや写真を使って、サポーターとして参加した方から当日の様子を聞きました。次に子ども・保護者・サポーターのアンケートの結果を共有して気づいたことを話し合いました。その後、今後の遊び場作りでやってみたいことを出し合いました。



気づいたこと

- ・面白いと思ったら同じところで遊ぶ
- ・子どもは体を動かす遊びが好き
- ・家庭ではできない遊び、普段できないこと
- ・自由につくる遊び
- ・同じ遊びは同じくらいの年齢で
- ・遊びながら他の子を見て、遊びが成長した
- ・小さい子には親の見守りが必要
- ・親は見守りが多かった
- ・親子で遊べるように
- ・子どもは子ども同士、大人は少し手伝う
- ・子どもの笑顔を見守ると楽しい

1
班

やってみたいこと

- 宝探し、虫取り
- 汚れる！泥んこ遊び、砂遊び
- 丸太切り、〇〇釣り
- 思い切り壊す遊び**
- ダンボールハウス・迷路づくり**
- 大まかな年齢別エリア**
- 2歳以下のエリア
- ボールの的あて
- なにか回る遊具
- アスレチック

*赤字はぜひ取り組みたいこと





気づいたこと

やってみたいこと

2班

- 今の親も大変・子どもも大変
- お父さんの参加が多かった
- 親が見渡せる広さ、配置
- 未経験のことに挑戦させている
- 泥だんご作りが楽しみな人が多かった
- 泥だんご、泥遊びが自由にできる環境
- 保護者が過保護になりすぎない
- 保護者は休憩するスペースを欲しがった
- 体を動かす遊びが好き
- 親と一緒に遊ぶ親子と遊ばない親子がいた
- 雨の降る日は室内でお手玉、トランプ
- 広場に砂場が欲しい
- 物を作る遊びが好きだ
- スライムで心の開放ができた
- スライムはやったこと長いお父さんが多い
- 一生懸命遊べる環境、汚れてもよい
- 親の制限を抑制する

- ビオトープ
- 宝探しゲーム
- 小高い山と小川
- 山で草スキー、川で魚釣り
- 氷の山
- 広川タワー、ツリーハウス
- 木登り、竹登り
- フォークダンス
- 記録が残せる遊び、スペース
- 昔の遊び道具
- 室内運動場
- 汚れる覚悟で遊べるエリア
- 砂場、砂でトンネルづくり
- 子どもだけ
親と一緒に遊べるエリア



3班

- 子どもは飽きっぽい、遊具だけではダメだ
- 直接感じる遊び
- 子どもの年齢が近いので良い
- 季節に応じた施設が欲しい
- お父さんの参加が多かった
- 小さい子はお母さんと遊ぶのが大好き
- パパも積極的に関わる空間づくり
- サポーターも楽しまないと
- ひとり遊びではなく、大勢で遊ぶ方法
- ニーズは多様、公園だけではなく複合的に
- 人は光るものを好む
- 非日常的な遊び
- 体験できないことができて良い
- 非日常は楽しい人も集まるが常設は難しい
- 普段体験できない事ができ楽しそうだった
- 定期的イベントを開く
- 自然（土・水・生き物）と一緒に
- ビール缶で飯盒炊飯
- タープで日陰作り
- ピクニック

- 屋外と屋内の遊びを複合
- 川の流れの強さ、速さを体験できる
- 潜って魚を突ける
- 川遊び、小さい魚を捕まえる
- 水の流れる場所
- 野原でキャンプ、ピクニック
- ケーブル、岩登り
- 自然があるところ
- 自然のものを使って遊ぶ 葉っぱ・団栗
- 親子でなければできないもの
- 糸島にあるようなアスレチック
- 大人向けの公園
- 大人も遊べる
- トランポリン
- 長い滑り台
- 休憩や食事ができる
- 大人がホッとできる
- 休憩スペース
- カフェ

